

# 就職先からの卒業生評価アンケート調査報告 (2025 年度実施)

報告：キャリア支援委員会

□ 調査時期：2025 年 8 月 1 日～2025 年 8 月 31 日

□ 調査方法：Google フォームによる回答

調査内容：①本学卒業生の在籍状況  
②新卒採用の際に重視している点  
③本学卒業生の評価 ②③の比較

## 1. 調査の目的

「就職先からの卒業生評価アンケート」(以下「本アンケート」と表記する)では、企業(園・施設・医療機関等含む)が新卒採用の際に重視している点と、本学卒業の在職者評価を依頼する。双方を対比することで、今後の人材育成の指針を探ることを目的としている。また、卒業後3年目の卒業生(2023年3月卒業)の就職先に限定して、現在の在籍状況も調査の対象とした。

## 2. 調査の対象

2023年3月卒業生：296名中、就職内定者250名(生活学科：67名、幼児教育保育学科：107名、ビジネスコミュニケーション学科：76名)のうち、公務員・配属先不明・入社すぐ退職者除く、「236名の学生を採用いただいた就職先184社(一般企業・医療機関、幼稚園教諭・保育士・保育教諭、栄養士、製菓・製パン)」に実施した。

## 3. 対象送付件数及び有効回答数

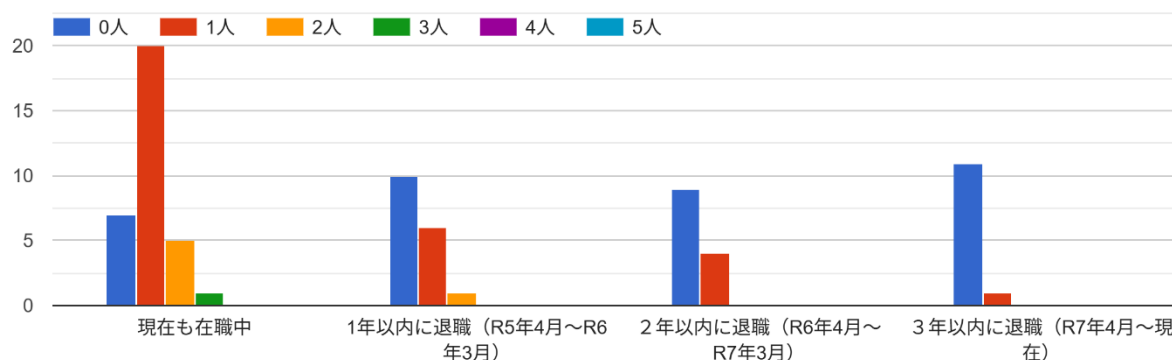
対象組織・区分	送付件数	卒業対象者	有効回答数
企業・医療機関(施設含)	78	101	46 (45.5%)
幼稚園教諭・保育士・保育教諭	71	91	58 (63.7%)
栄養士	15	21	11 (52.4%)
製菓・製パン	20	23	9 (39.1%)
合計	184	236	124(52.5%)

## 4. 調査の結果報告

栄養士、製菓・製パン関連については、有効回答数が少ないため、④学生へのメッセージ【学生時代に経験・学んでおくべきこと】、⑤学生へのメッセージ【貴組織の求める学生像等について】、⑥滋賀短期大学のイメージのみを掲載す

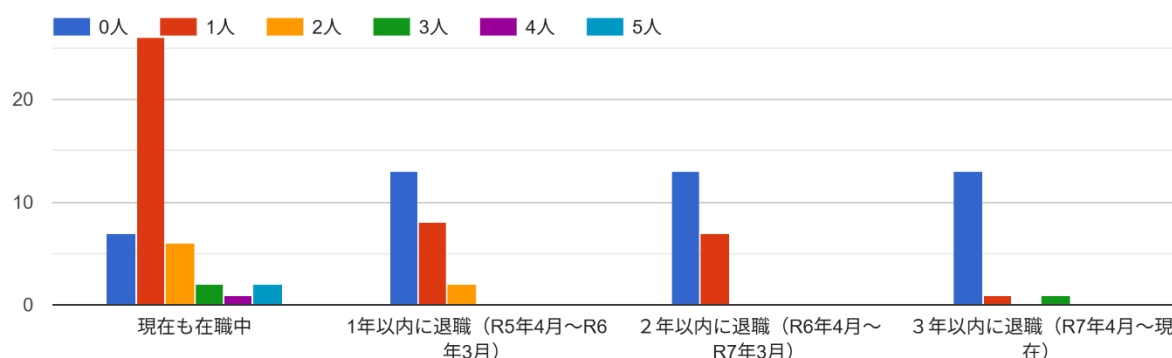
## ①本学卒業生の在籍状況

### 【企業・医療機関対象】



卒業生の職場定着率は比較的高く、3年以内の退職者は少数にとどまっている。一方、後述の退職理由の記述には「給与への不満」「仕事内容とのギャップ」「自己都合」「退職代行の利用」などが見られ、職場環境や個人の価値観との不一致が主な要因と考えられる。中には「楽しくない」「きつい」「給料が安い」といった感情的な理由もあり、職場での満足度や環境が定着に影響していることが示唆される。また、精神的な不調を背景とした離職も報告されており、学生時代からの自己理解やストレス対処力の育成が重要である。今後の教育支援では、職業観の形成や職場とのマッチング支援に加え、自己管理能力や柔軟な対応力を育むことが、離職防止と職場定着の促進につながると考えられる。

### 【幼稚園教諭・保育士・保育教諭】



職場定着率は比較的高く、グラフからも「現在も在職中」の割合が最も多いことが確認できる。一方で、後述の退職理由から職場環境や個人の価値観との不一致が主な要因と考えられる。特に保育職では、「人間関係」「職員との関係性」「精神的な不調」「社会的マナーの不足」「業務遂行能力の不足」など、職場内でのコミュニケーションや自己管理能力に起因する事例が見られた。職業選択の段階での自己理解の重要性が浮き彫りとなっている。今後の教育支援では、職業観の形成に加え、自己管理能力やストレス耐性、柔軟な対応力を育むことが、離職防止と職場定着の促進につながると考えられる。

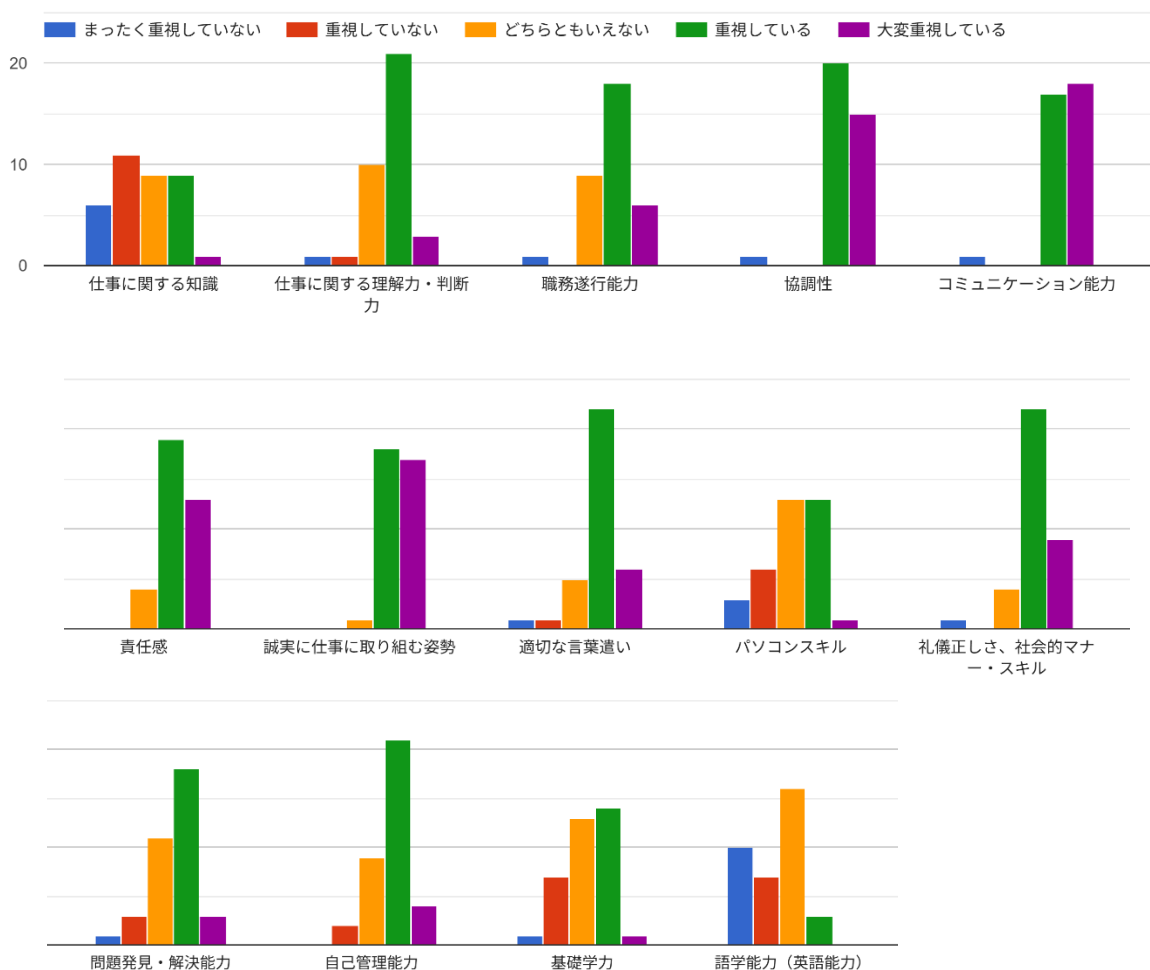
## ②新卒採用の際に重視している点

【企業・医療機関対象】

### 企業側 採用時重視する点 ベスト3

1. コミュニケーション能力
2. 誠実に仕事に取り組む姿勢
3. 協調性

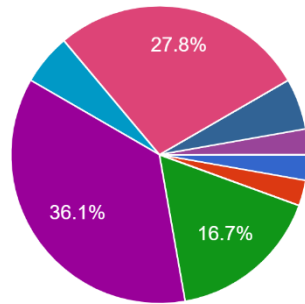
一般的な短期大学生を新卒採用する場合、どのような点を重視されていますか。



企業・医療機関が新卒採用時に重視するポイントとして、「コミュニケーション能力」「誠実に仕事に取り組む姿勢」「協調性」が上位に挙げられている。これらは職場での信頼関係や円滑な人間関係の構築に不可欠な要素であり、専門的なスキル以上に人間性や基本的態度が重視される傾向がある。また、礼儀や社会的マナー、適切な言葉遣いなどは、採用時に重要視される資質として明記されており、学生時代からこれらを意識して身につけておくことが求められる。今後の人材育成では、こうした基本的態度の涵養に加え、実務能力の向上も並行して進めることが重要となる。

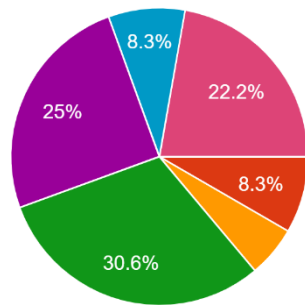
## 【重視する点 項目別回答ベスト3】

1位



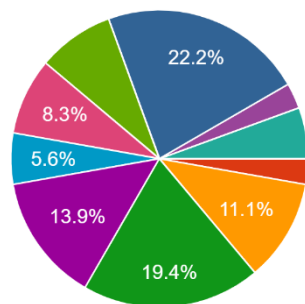
- 仕事に関する知識
- 仕事に関する理解力・判断力
- 職務遂行能力
- 協調性
- コミュニケーション能力
- 責任感
- 誠実に仕事に取り組む姿勢
- 適切な言葉遣い
- パソコンスキル
- 礼儀正しさ、社会的マナー・スキル
- 問題発見・解決能力
- 自己管理能力
- 基礎学力
- 語学能力（英語能力）

2位



- 仕事に関する知識
- 仕事に関する理解力・判断力
- 職務遂行能力
- 協調性
- コミュニケーション能力
- 責任感
- 誠実に仕事に取り組む姿勢
- 適切な言葉遣い
- パソコンスキル
- 礼儀正しさ、社会的マナー・スキル
- 問題発見・解決能力
- 自己管理能力
- 基礎学力
- 語学能力（英語能力）

3位



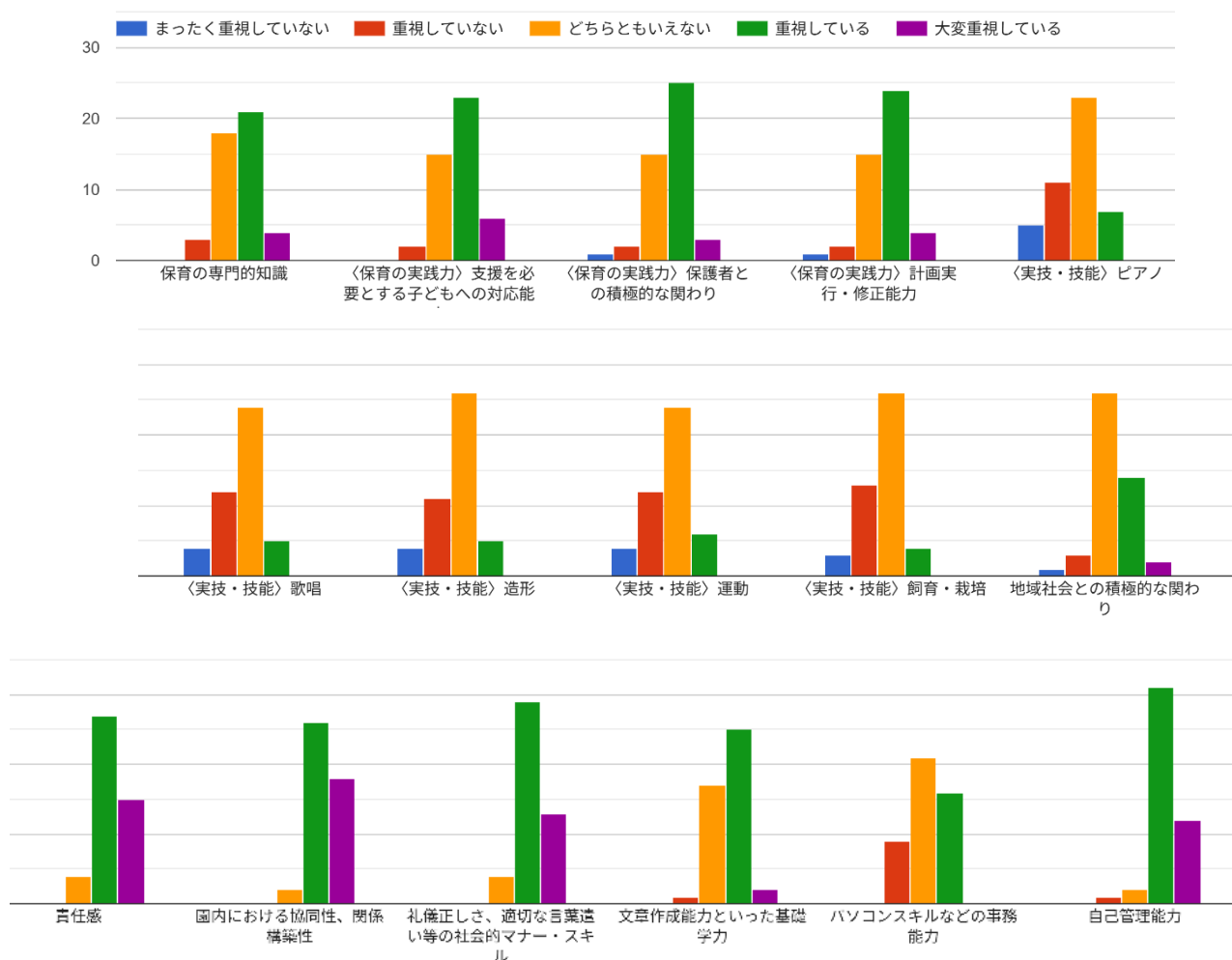
- 仕事に関する知識
- 仕事に関する理解力・判断力
- 職務遂行能力
- 協調性
- コミュニケーション能力
- 責任感
- 誠実に仕事に取り組む姿勢
- 適切な言葉遣い
- パソコンスキル
- 礼儀正しさ、社会的マナー・スキル
- 問題発見・解決能力
- 自己管理能力
- 基礎学力
- 語学能力（英語能力）

【幼稚園教諭・保育士・保育教諭 対象】

幼稚園教諭・保育士・保育教諭側 採用時重視する点 ベスト3

1. 園内における協同性、関係構築性
2. 責任感
3. 礼儀正しさ,適切な言葉遣い等の社会的マナー・スキル

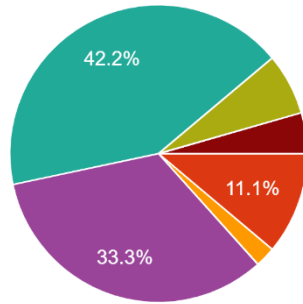
一般的な短期大学生を新卒採用する場合、どのような点を重視されていますか。



幼稚園教諭・保育士・保育教諭の採用時に重視されるポイントとして、「園内における協同性・関係構築性」「責任感」「礼儀正しさや適切な言葉遣いなどの社会的マナー・スキル」が挙げられている。これらは子どもや保護者、職員との信頼関係を築くうえで不可欠な要素であり、専門的な技能以上に人間性や基本的態度が重視される傾向がある。保育現場では、協調性や社会性、責任感を持って行動できる人材が求められており、学生時代から多様な人との関わりや実践的な経験を通じて、これらの資質を育むことが重要とされている。

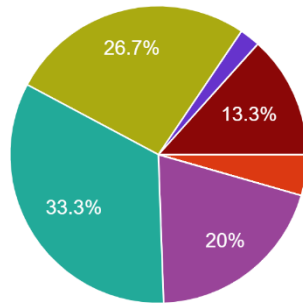
## 【重視する点 項目別回答ベスト3】

1位



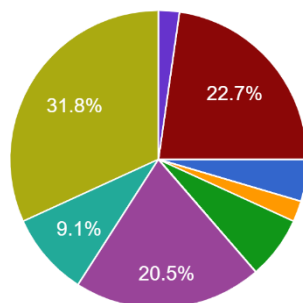
- 保育の専門的知識
- 〈保育の実践力〉支援を必要とする子...
- 〈保育の実践力〉保護者との積極的な...
- 〈保育の実践力〉計画実行・修正能力
- 〈実技・技能〉ピアノ
- 〈実技・技能〉歌唱
- 〈実技・技能〉造形
- 〈実技・技能〉運動
- 〈実技・技能〉飼育・栽培
- 地域社会との積極的な関わり
- 責任感
- 園内における協同性、関係構築性
- 礼儀正しさ、適切な言葉遣い等の社会...
- 文章作成能力といった基礎学力
- パソコンスキルなどの事務能力

2位



- 保育の専門的知識
- 〈保育の実践力〉支援を必要とする子...
- 〈保育の実践力〉保護者との積極的な...
- 〈保育の実践力〉計画実行・修正能力
- 〈実技・技能〉ピアノ
- 〈実技・技能〉歌唱
- 〈実技・技能〉造形
- 〈実技・技能〉運動
- 〈実技・技能〉飼育・栽培
- 地域社会との積極的な関わり
- 責任感
- 園内における協同性、関係構築性
- 礼儀正しさ、適切な言葉遣い等の社会...
- 文章作成能力といった基礎学力
- パソコンスキルなどの事務能力
- 自己管理能力

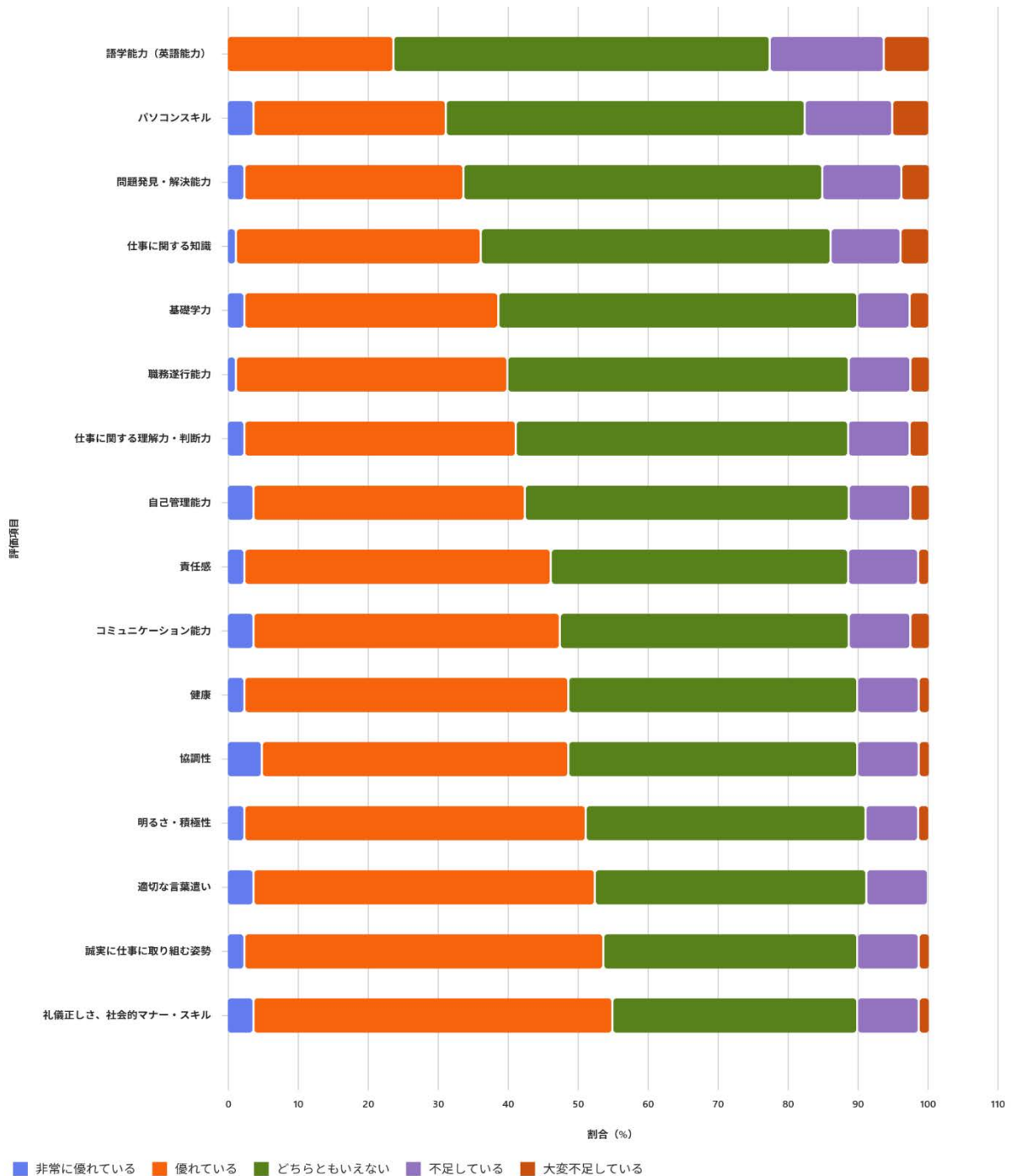
3位



- 保育の専門的知識
- 〈保育の実践力〉支援を必要とする子...
- 〈保育の実践力〉保護者との積極的な...
- 〈保育の実践力〉計画実行・修正能力
- 〈実技・技能〉ピアノ
- 〈実技・技能〉歌唱
- 〈実技・技能〉造形
- 〈実技・技能〉運動
- 〈実技・技能〉飼育・栽培
- 地域社会との積極的な関わり
- 責任感
- 園内における協同性、関係構築性
- 礼儀正しさ、適切な言葉遣い等の社会...
- 文章作成能力といった基礎学力
- パソコンスキルなどの事務能力
- 自己管理能力

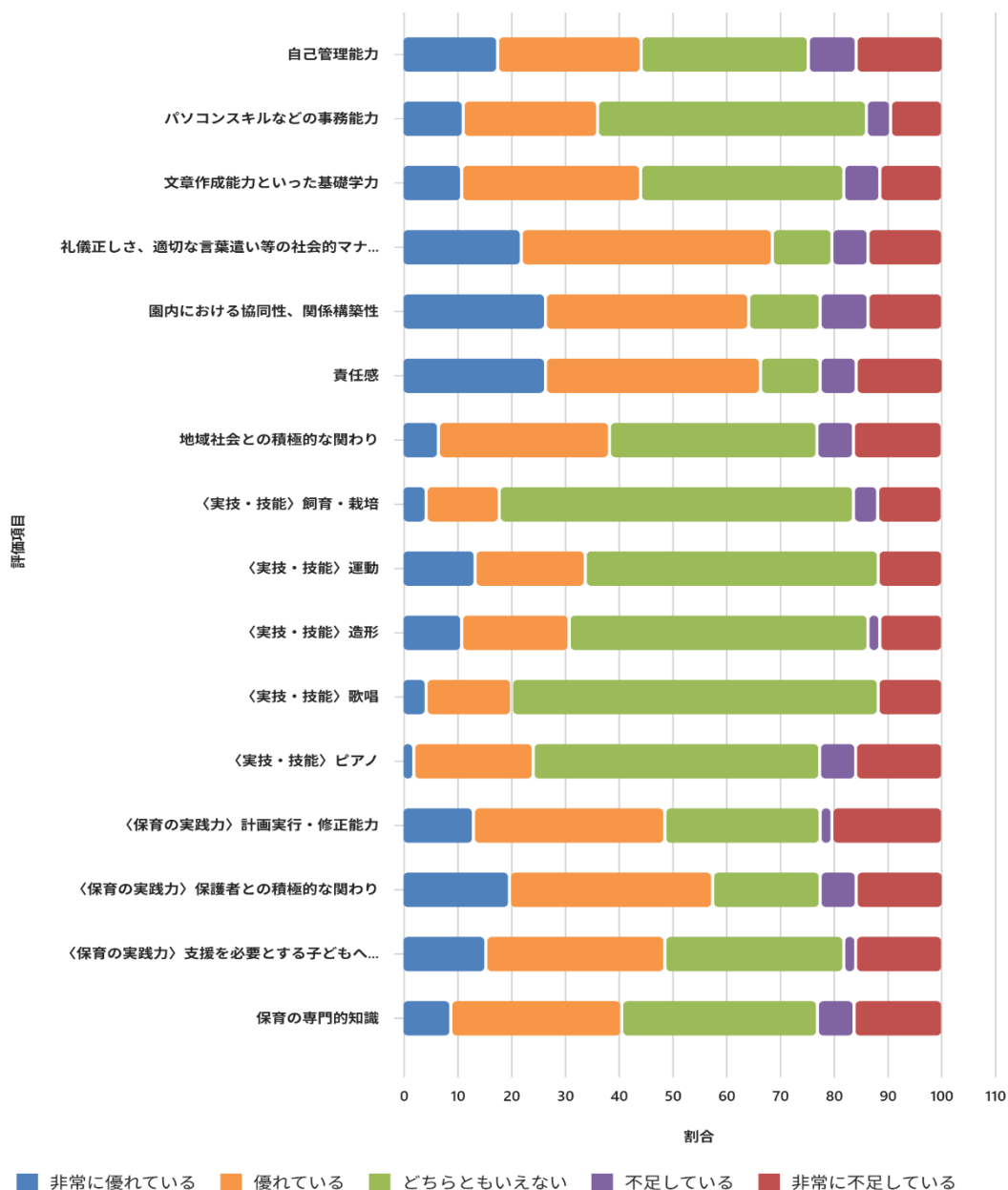
### ③本学卒業生の評価

#### 【企業・医療機関対象】



企業・医療機関からの評価では、卒業生の「礼儀正しさ」「誠実な仕事への姿勢」「適切な言葉遣い」など、基本的な態度に関する項目が高く評価されており、職場での信頼関係や協調性の面で好印象を与えている。一方、「語学力（特に英語）」「パソコンスキル」「問題発見・解決能力」などの実務的・専門的スキルには課題が見られ、特に語学力は評価が最も低かった。これらの結果から、今後の人材育成では、既に高評価を得ている基本的態度を維持しつつ、ITスキルや語学力、課題解決力などの実務能力の強化が重要なテーマとなる。

## 【幼稚園教諭・保育士・保育教諭対象】



幼稚園教諭・保育士・保育教諭対象の評価では、「責任感」「協調性」「社会的マナー・スキル」などの基本的態度は評価が高く、現場での信頼性が高い。一方、「保育の実技・技能（ピアノ・歌唱・造形など）」は「どちらともいえない」が多く、評価が分かれており、「不足している」「非常に不足している」との指摘も一定数見られる。加えて、「自己管理能力」についても不足が指摘されており、時間管理や感情コントロール、体調管理などの面等、今後は、実技力の強化とともに、自己管理能力を育む教育支援が重要となる。